

日本メディア学会

第 39 期第 10 回理事会 議事録

日時：2024 年 7 月 27 日（土）10：00～11:30

場所：Zoom によるオンライン開催

出席者（23 名）：理事＝阿部、石田（あ）、音、金平、烏谷、古賀、笹田、鈴木、田中、辻、土橋、福間、長崎、藤田、松尾、松永、水越、毛利、山口、吉見／ 監事＝吉光／ 部会長等＝清水、津田

欠席者（5 名）：理事＝石田（佐）、植村、村上／ 監事＝柴野／ 部会長等＝治部

事務局出席者（4 名）：杉山、松山、柳、ヴィニットポン

オブザーバー（1 名）：近藤

1. 報告事項

1. 一般会務報告

1) 事務局報告

→ 2024 年度春季大会の参加者数（申込者数）が 414 名（うち、学生 131 名、賛助会員 9 名、一般 53 名）であったとの報告があった。また参加費徴収について、支払い期間中に PassMarket の仕様変更があり、一部混乱が生じたため、今後、参加費徴収のやり方をどうするかは事務局で検討していく旨の報告があった。

2) 委員会報告

(1) 企画委員会

→ 非会員のワークショップ登壇者の参加費、謝礼についての報告があった。まず前提として、大会において魅力的な非会員に登壇の機会を与えることは重要であり、その一方で、年会費を支払った人とそうでない人の間に不平等を生じさせてはいけない。以上をふまえ、企画委員会として以下の方針をとるとの報告があった。1. 部会企画のワークショップについては大会シンポジウム同様に、非会員の登壇を認めることとする。非会員のワークショップ登壇者はシンポジウムと同様、参加費は徴収しない。謝礼を支払うかどうかは各部会に一任する。2. 会員企画のワークショップについては会員に限るものとする。ただし、ワークシ

ヨップ応募のタイミングと会員申込のタイミングがあわない場合には、大会開催時までに会員になることを認めるものとする。

(2) 研究活動委員会

→ 2024 年度春季大会でのポスターセッション、ワークショップでの討議の結果をふまえ、部会案を検討し、今後の理事会にて諮っていくとの報告があった。

(3) 編集委員会

→ 『メディア研究』105 号の編集作業をしている旨の報告があった。

(4) 国際委員会

→ 2024 年度秋季大会シンポジウムの企画作業をしている旨の報告があった。

(5) その他

→ とくになし

2. その他

→ とくになし

2. 審議事項

1. 第 39 期第 9 回理事会議事録（案）について（総務担当）

→ 承認された。

2. 報告者の資格確認の徹底について（企画委員会）

→ 2024 年度春季大会において、非会員が個人発表をしていた事例があった（当該者は、会費の振り込みをもって会員手続きとなると勘違いしていたため起こった）。理事会として、当該の個人発表を事後承認することを合意した。また、そのうえで、今後、企画委員会において「報告者の資格確認の徹底」をすることを確認した。具体的には、企画委員会内のチェックを厳格化し、かつ、応募フォームにチェック項目の欄を設けるなど応募者の確認作業をすることを確認、合意した。

3. 基金・寄付金検討 WG の提案について（基金・寄付金 WG）

→ 「内川芳美基金運用内規（旧内川芳美基金運用規約）」および「日本メディア学会賞内規」について、改正案が承認された。これをふまえ、2025 年度春季大会より「内川芳美記念メディア学会賞」への適用を開始することも合意した。

4. 会員の入退会について 入会希望者 12 名、退会希望者 0 名、みなし退会者 0 名

→ 承認された。

5. その他

→ 水越会長より、魅力的なワークショップ・シンポジウムの継続的な開催、賛助会員のあり方の検討、学会賞のあり方の検討、ジェンダー・ダイバーシティの方針継続、2024年度秋季大会から英語発表を受け付けることについて、確認とお願いがあった。

今後の理事会日程（予定）

第11回 2024年8月24日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)

第12回 2024年10月26日(土) 秋季大会当日(オンライン開催)

第13回 2025年1月11日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)

第14回 2025年3月8日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)

第15回 2025年5月17日(土) 10:00-12:30(オンライン開催)

第16回 春季大会当日(対面開催)